

県営かんがい排水事業

関連遺跡発掘調査報告書Ⅲ-3

—びわ町早崎遺跡—

1986

滋賀県教育委員会

滋賀県文化財保護協会

県営かんがい排水事業

関連遺跡発掘調査報告書Ⅲ-3

—びわ町早崎遺跡—

1986

滋賀県教育委員会

財団法人 滋賀県文化財保護協会

## 序

県下のは場整備事業に伴う埋蔵文化財の発掘調査はすでに13年目を迎え、は場整備事業の拡大に伴う発掘調査件数の増加によって種々の資料や成果が蓄積されております。

発掘調査で得られたその成果を公開し、広く埋蔵文化財に関する御理解を深めて頂く一助にしたいと、ここに昭和60年度に実施いたしました県営かんがい排水事業に伴う発掘調査の報告書を3分冊に分けて刊行するものであります。

最後に発掘調査にあたり、御協力頂きました地元関係者並びに関係諸機関に対し、厚く感謝の意を表すと共に報告書の刊行に御協力頂きました方々に対しても厚くお礼申し上げます。

昭和61年3月

滋賀県教育委員会

教育長 南 光 雄

## 例 言

1. 本書は県営かんがい排水事業に伴う発掘調査報告書Ⅲ-3で、昭和60年度に発掘調査したものである。
2. 本調査は滋賀県農林部からの依頼により、滋賀県教育委員会を調査主体とし、(財)滋賀県文化財保護協会を調査機関として実施した。
3. 本書には、県営かんがい排水事業に伴う早崎遺跡の調査報告書をおさめた。
4. 本書で使用した方位は磁針方位に基づき、高さについては東京湾の平均海面を基準としている。
5. 本事業の事務局は次のとおりである。

### 滋賀県教育委員会

文化財保護課長	市原 浩
課長補佐	中正 輝彦
埋蔵文化財係長	林 博通
” 技師	葛野 泰樹
管理係 主事	山本 徳樹

### (財)滋賀県文化財保護協会

理事長	南 光雄
事務局長	江波弥太郎
埋蔵文化財課長	近藤 滋
調査三係長	大橋 信弥
” 囑託	尾崎 好則
総務課長	山下 弘
” 主事	松本 暢弘
囑託	中谷サカエ

6. 本書の執筆・編集は、調査担当者大橋と尾崎が行い、文章の末尾に執筆者名を付した。
7. 出土遺物や写真・図面については滋賀県教育委員会で保管している。

## 目 次

序

例 言

1. はじめに .....	1
2. 位置と環境 .....	3
3. 調査の経過 .....	6
4. 調査の結果 .....	8
5. ま と め .....	12

## 挿 図 目 次

第 1 図 周辺遺跡分布図 .....	2
第 2 図 旧地形図 .....	4
第 3 図 トレンチ位置図 .....	7
第 4 図 トレンチ配置図 .....	9
第 5 図 トレンチ断面図 ( 1 ) .....	10
第 6 図 トレンチ断面図 ( 2 ) .....	11

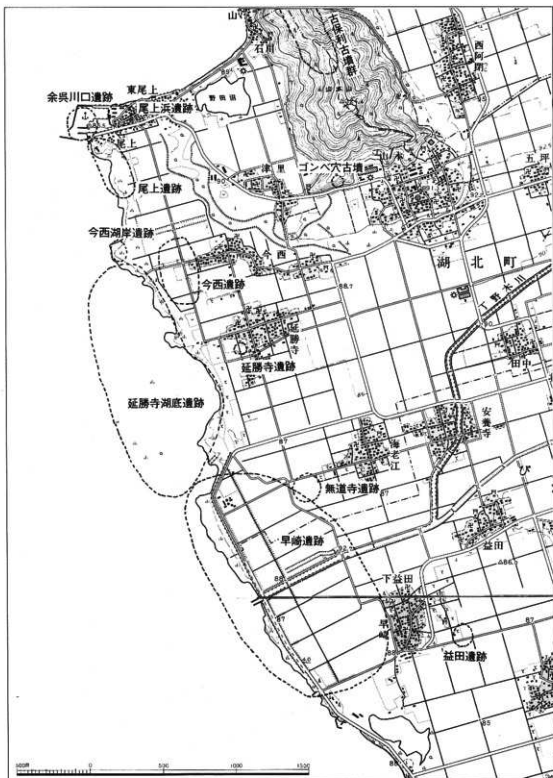
## 図 版 目 次

- |     |    |                                   |
|-----|----|-----------------------------------|
| 図版一 | 遺構 | 1. 調査地全景<br>2. 調査前景               |
| 図版二 | 遺構 | 1. レッカー、小型バックホーによる掘削<br>2. 表土掘削状況 |
| 図版三 | 遺構 | 1. 大型バックホーによる掘削<br>2. 調査状況        |
| 図版四 | 遺構 | 1. 測量状況<br>2. 最終遺構検出面             |
| 図版五 | 遺構 | 1. 土層断面遠景<br>2. 土層断面近景            |
| 図版六 | 遺物 | 弥生土器、須恵器                          |
| 図版七 | 遺物 | 須恵器                               |
| 図版八 | 遺物 | 須恵器、土師器                           |
| 図版九 | 遺物 | 1. 弥生土器<br>2. 須恵器                 |
| 図版十 | 遺物 | 1. 土師器<br>2. 土  鍾                 |

## 1. はじめに

早崎遺跡は、旧早崎内湖を中心に拡がる遺跡で、琵琶湖側にも土器の散布が認められる。昭和59年度県営灌漑排水事業に伴い、沖合約460 mまで分布調査を行った結果、約390 mまで弥生時代から平安時代の土器の出土が確認された。昭和59年度は、沖合約120 mまで調査をおこない、旧早崎内湖の砂洲並びに集落跡とみられる生活痕を検出した。遺物では、弥生時代中期から平安時代にいたる土器、木製品、石器の出土が認められた。以上の結果より、本年度は、未調査部分の約270 mを対象に調査を実施した。

(尾崎)



第1図 周辺遺跡分布図



## 2. 位置と環境

奥琵琶湖 — 東浅井郡湖北町の湖辺、湖中に所在する遺跡の調査は、昭和48年に滋賀県教育委員会によって、湖岸堤管理用道路予定地を中心とした地域で、遺跡分布調査が実施された。その結果、湖北町尾上からびわ町早崎にかけての、湖岸の砂地とそれに続く遊浅部や、湖中の浜堤状の浅瀬に、縄文時代から奈良時代にわたる遺物（土器）の散布することが確認された。

その後、本格的な発掘調査は、湖岸堤管理用道路や舟溜り工事などに伴って、昭和57年度より開始され現在も継続して行われている。これまでに湖辺で実施された発掘調査は、次のとおりである。

### 昭和57年度

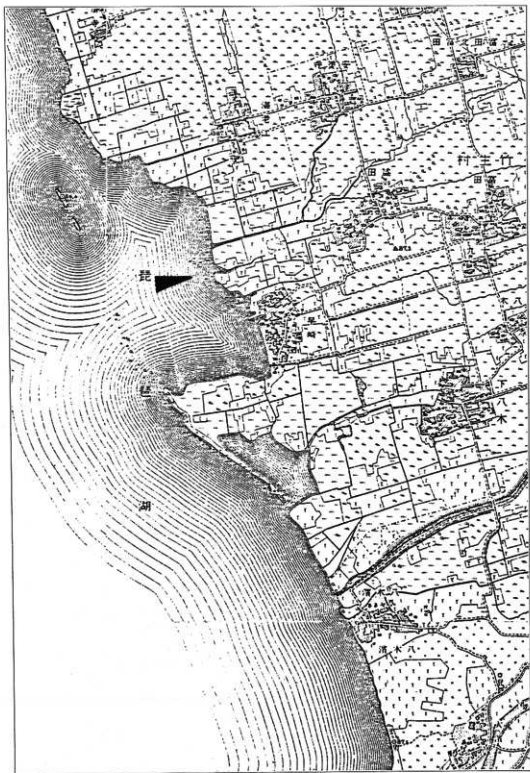
- (1) 今西遺跡（湖北町今西地先）……………湖岸堤管理用道路工事・今西工区（その1）
- (2) 今西遺跡（湖北町今西地先）……………今西舟溜り補償工事
- (3) 今西遺跡（湖北町今西地先）……………湖岸堤管理用道路工事・今西工区（その2）

### 昭和58年度

- (4) 延勝寺湖底遺跡（湖北町海老江地先）……………延勝寺・海老江舟溜り工事
- (5) 延勝寺湖底遺跡（湖北町延勝寺地先）……………湖岸堤管理用道路・延勝寺工区
- (6) 延勝寺湖底遺跡（湖北町今西地先）……………今西航路浚渫工事
- (7) 尾上遺跡（湖北町尾上地先）……………湖岸堤管理用道路・尾上荘
- (8) 尾上遺跡（湖北町尾上地先）……………農村基盤総合整備事業

湖北町早崎は、国鉄北陸本線河毛駅の西方約3kmに位置し、湖岸より600～700mあり、内陸にある。今回、調査を実施した地点は、旧早崎内湖の砂洲上の一角である。

湖岸および周辺の主要な遺跡についてみると、尾上とその西北に位置する萬籠尾崎の間の湖中に、縄文時代早期から中世にいたる時期の土器が採集される萬籠尾湖底遺跡がある。また、余呉川河口部北側の湖岸を中心に、土師器や須恵器の散布する尾上浜遺跡、河口部の湖中には、縄文式土器や弥生式土器、石器の採集された余呉川口遺跡、余呉川の南側の湖岸から尾上の集落にかけては、平安時代の祭祀用木製品の出土する尾上遺跡が知られている。さらに南には、今西湖岸遺跡が所在し、その東から東南の陸上部には近接して今西遺跡があり、弥生時代後期から奈良時代までの長期



第2図 旧地形図

にわたる遺物が出土しており、集落跡と考えるのが妥当である。今西遺跡の面に所在する延勝寺湖底遺跡は、湖岸から湖中の浅瀬にかけて南北約1 km、東西約0.5 kmにわたって、縄文式土器や弥生式土器などの散布が確認されている。そして早崎内湖旧浜堤上に、今回調査を実施した早崎遺跡がある。

一方内陸部では、顕著な縄文～古墳時代の集落跡は確認されていないものの、湖北町から高月町へかけての山本山から西野山丘陵には、古墳時代前期後半～中期前半(4世紀後半～5世紀前半)に築造された古保利古墳群や、全長約50 mの前方後円墳若宮山古墳がある。また、山本山南麓には、ゴンベ穴古墳をはじめとする後期古墳も認められる。山木山の南西山麓にある津ノ里では、白鳳時代の古瓦が出土するほか、塔心礎が小川の右橋に転用されているなど古代寺院跡の可能性が強い(津ノ里廃寺)。さらに南西約700 mには、やはり白鳳時代の寺院跡と推定される浅井寺遺跡がある。それ以外にも、時期不詳ではあるが寺の字名が各所に見られることは注意すべきであろう。

湖北町西半の湖周辺に遺跡を概観して、遺跡の全様の明確でないものもあるとはいえ、縄文時代以来古代・中世まで、きわめて遺跡の密度が高く、なおかつ重要な遺跡を含んだ地域といえよう。

(大橋)

### 3. 調査の経過

まず調査方法は、四方を鋼矢板で仕切り、調査地区を5トレンチ（ブロック）に区切り順次調査を進めた。掘削並びに遺構検出の方法は、大型バックホウ（0.7㎡）、小型バックホウ（0.05㎡）、レッカー（5t）及び転倒バケツを併用し作業を進めた。

（尾崎）

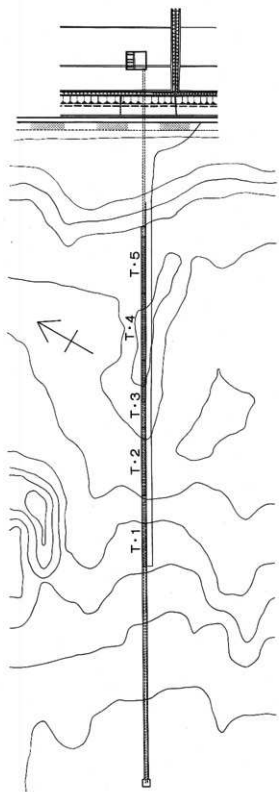


第3図 トレンチ位置図

## 4. 調査の結果

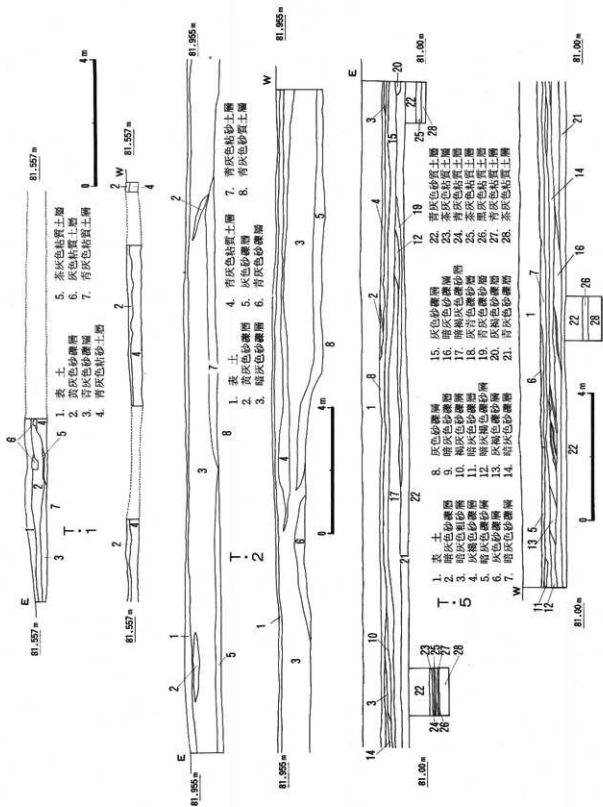
遺物は各トレンチで検出されたが、第1トレンチ（T・1）、第2トレンチ（T・2）、第3トレンチ（T・3）では、遺物包含層が上面より1 mから1.5 mの厚さで確認された。遺物としては、多量の土器片の出土がみられ、年代的には古墳時代前期から平安時代にかけてのものが主に認められる。遺構としては、明瞭なものは確認されていない。

（尾 崎）



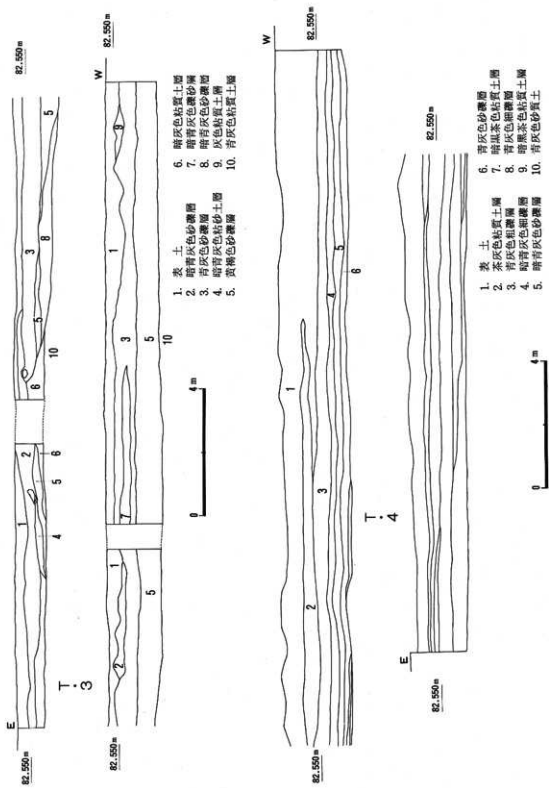
150 m

第4図 トレンチ配置図



第5図 トレンチ断面図(1)





- 1. 表土
- 2. 暗青灰色砂礫層
- 3. 青灰色砂礫層
- 4. 暗青灰色粘砂土層
- 5. 黃褐色砂礫層
- 6. 暗灰色粘質土層
- 7. 暗青灰色砂礫層
- 8. 暗青灰色砂礫層
- 9. 灰色粘質土層
- 10. 青灰色粘質土層

- 1. 表土
- 2. 茶灰色粘質土層
- 3. 青灰色粗礫層
- 4. 暗青灰色細礫層
- 5. 暗青灰色砂礫層
- 6. 青灰色砂礫層
- 7. 暗黑茶色粘質土層
- 8. 青灰色細礫層
- 9. 暗黑茶色粘質土層
- 10. 青灰色砂質土

第6図 トレンチ断面図(2)

## 5. ま と め

今回の調査で確認されたことは、遺物包含層が比較的厚い点であり、年代的にも古墳時代前期から平安時代にかけての土器の出土が認められる。遺構としては、明確なものは認められないが、遺物包含層の堆積のあり方や昨年度の調査結果からみて、近辺に集落跡の存在が推定される。

(尾 崎)



1. 調査地全景



2. 調査前景



1. レッカー、小型バックホーによる掘削



2. 表土掘削状況



1. 大型バックホーによる掘削



2. 調査状況



1. 測量状況



2. 最終遺構検出面



1. 土層断面遠景



2. 土層断面近景







25



26



27



28



30



31



32



33



34



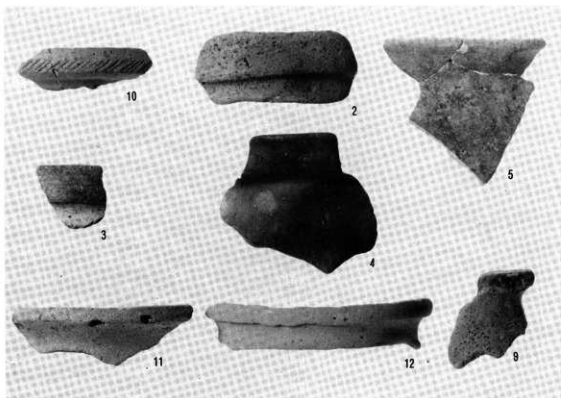
38



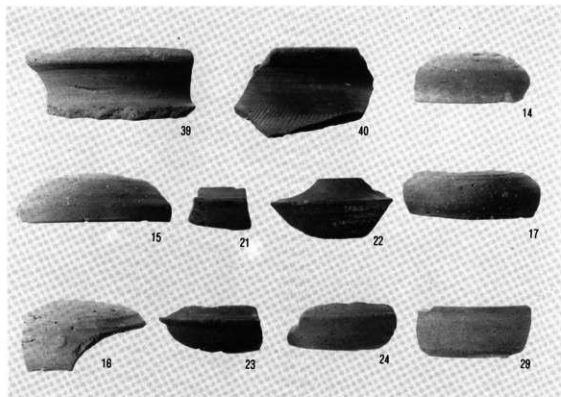
35



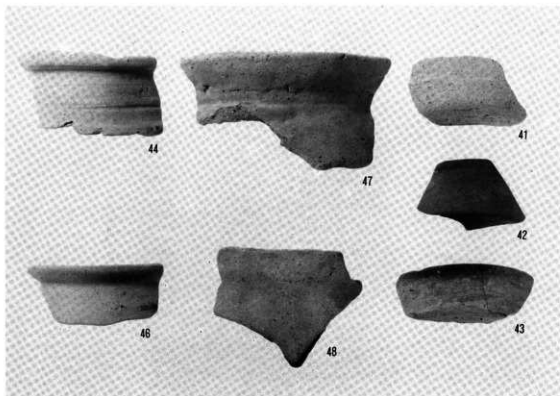
須恵器、土師器



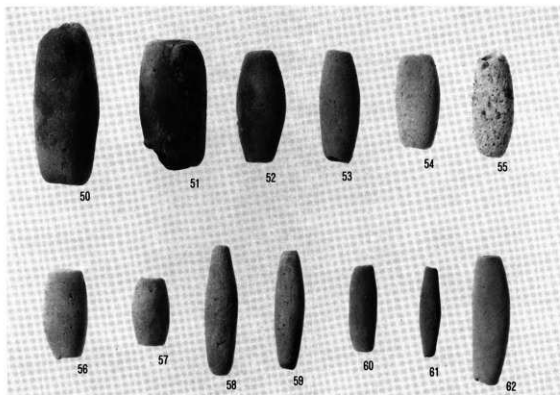
1. 弥生土器



2. 須恵器



1. 土師器



2. 土 錘

昭和61年3月

県管かんがい排水事業関連遺跡発掘  
調査報告書Ⅰ-3

編集・発行 滋賀県教育委員会文化財文化財  
保護課

大津市京町四丁目1-1

電話 0775-24-1121

内線 2536

財滋賀県文化財保護協会

大津市瀬田南大萱町1732-2

電話 0775-48-9781

印刷所 富士出版印刷株式会社

大津市札の辻4-20

電話 0775-23-2580